

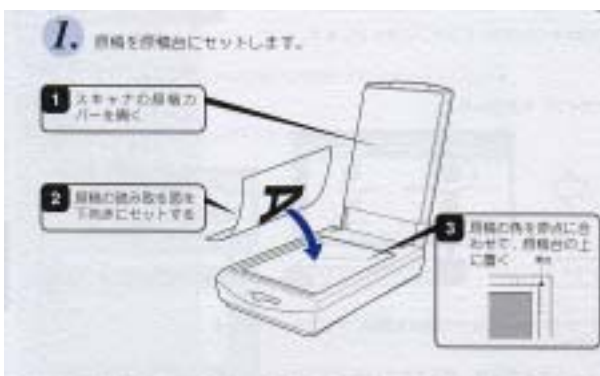
スキャナの使用法

スキャナ画像の取り込みは、TWAIN (トゥエイ) インターフェース対応のアプリケーションソフトで行うことができます。

今回は例として、生徒用パソコンの画面にもあるフォトエディターで取り込み方法を説明します。また、画像について簡単に説明をします。

- 📖 スキャナの使用例
- 📖 解像度とは・・・
- 📖 画像ファイルの種類

📖 スキャナの使用例



- 1 スキャナに原稿をセットします。
スキャナのフタをあげ、原稿の写したい面をガラスに向けてスキャナの右上を基準にセットしてください。



- 2 フォトエディターを起動します。
「なかよしきょうつう」の画面にある**フォトエディター**をクリックします。

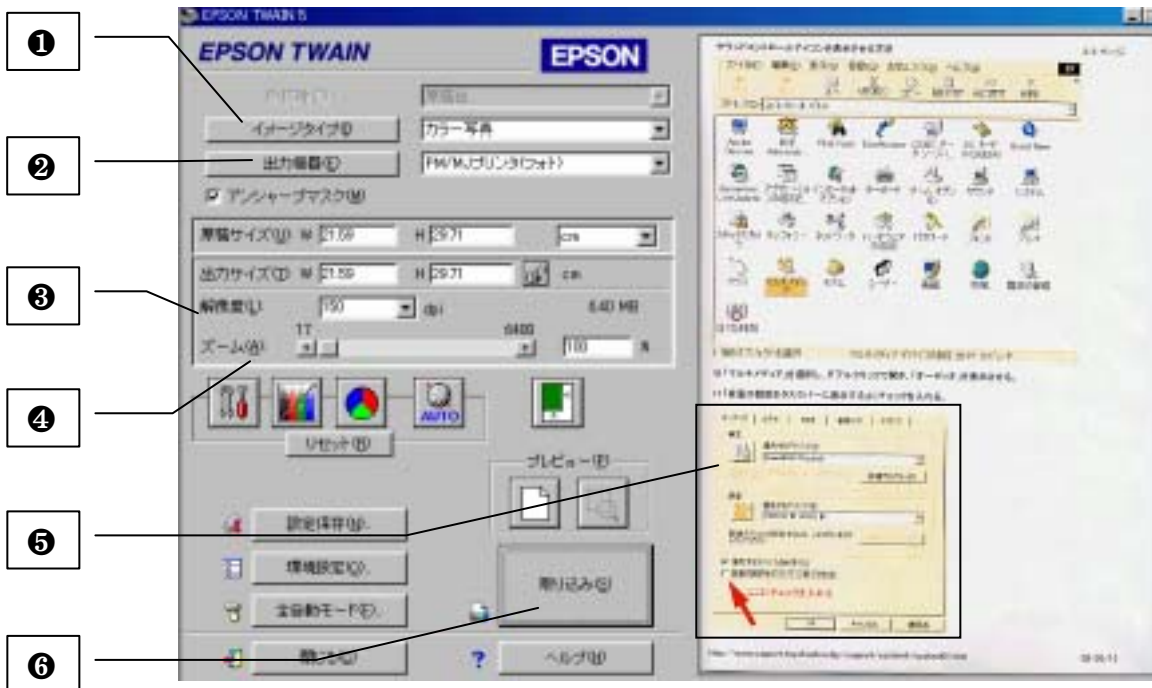


- 3 スキャンをはじめます。
メニューバーの**ファイル**をクリックします。
イメージの**スキャン**をクリックします。

👉 または、ツールバーの**スキャンボタン**をクリックします。



下図のように自動的にイメージが取り込まれます。



4 基本の設定と任意の設定

通常、自動的に表示されている解像度^{*1}の数値は、[出力機器(プリンタ)]の設定で決まっています。しかし一時的に解像度を変えて画像を取り込みたい場合には、ここで解像度の設定を行います。

【この設定の変更は一回の取り込みにも有効で、次の取り込み時には元の設定に戻っています。】

① イメージタイプ(E) カラー写真

(色の設定を▼をクリックして選択します。)

② 出力機器(E) PM/MJプリンタ(フォト)

(出力プリンタの設定を▼をクリックして選択します。)


③ 解像度(L): 150 dpi

(解像度の設定を▼をクリックして選択します。)

④ ズーム(A): 100 %

(ズームの設定を入力します。)

スキャンした画像を保存する場合にはズームの設定の数値を小さくすると画像サイズが小さくなり、容量の確保ができます。

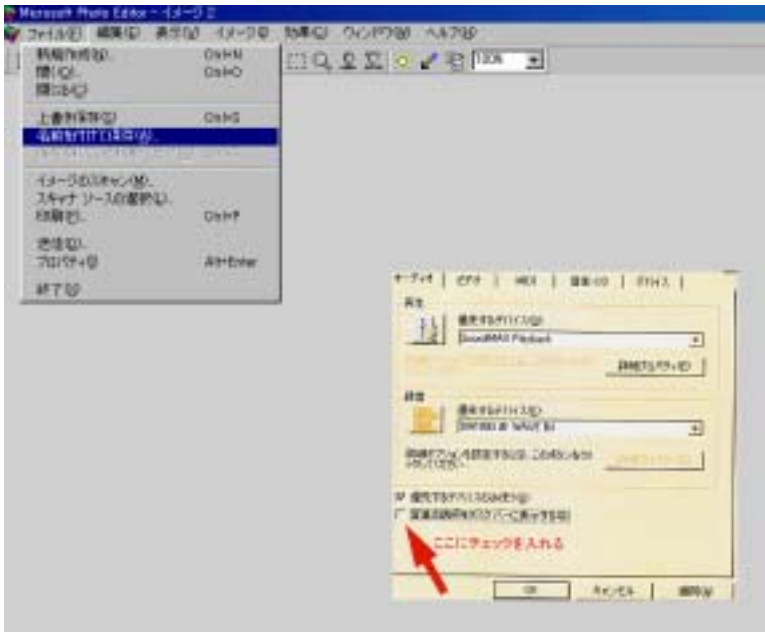
Point 
①～④までは通常、確認だけで良いです。

⑤ 取り込みたい範囲をドラッグで指定します。マウスポインタで選択範囲の枠上に移動するとポインタが矢印にかわり、ドラッグすることで選択範囲枠を拡大・縮小することができます。また、選択した範囲枠外でクリックをすると選択解除となります。



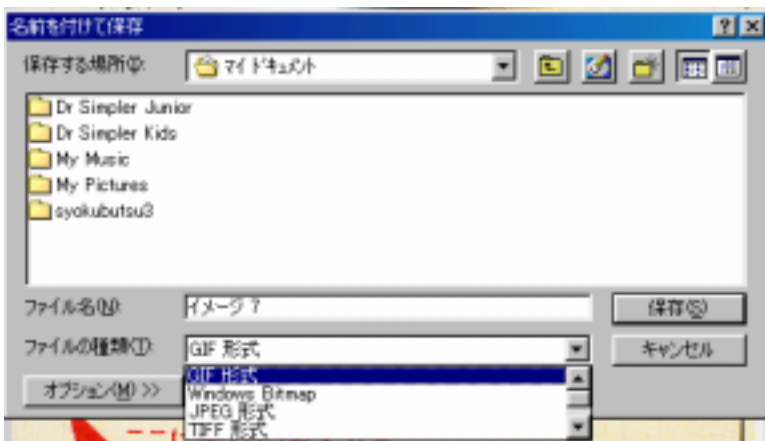
⑥ “⑤”で選択した範囲枠を取り込みます。取り込みボタンをクリックします。

スキャナ使用法&画像について



5 スキャンした画像を保存します。

- ☞ メニューバーの「ファイル」から名前をつけて保存をクリックします。



- ☞ 保存をする場所：▼をクリックして選択します。
- ☞ ファイル名を入力します
- ☞ ファイルの種類※2：▼をクリックして選択します。
- ☞ 保存ボタンをクリックします。

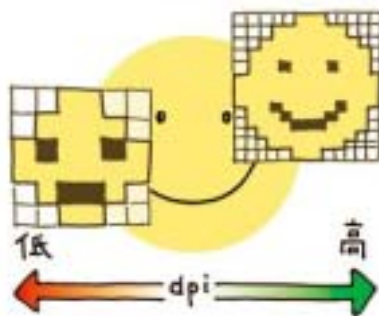
スキャナ使用法&画像について

※¹ 解像度とは

スキャナの性能を示す用語で「解像度」というのをよく見かけますが、これはスキャナで取り込む際の画質のきめ細かさを表しています。スキャナでは原稿を無数の点に置き換えて取り込むので、点の1つひとつが小さいほど原稿を忠実に取り込めます。

解像度の単位には「dpi」が使われ、dpiの数値が大きいほど性能のよいスキャナだと思って間違いありませんが、ネガフィルムから取り込むのであれば一般的な用途には300dpiもあれば十分だと思います。

学校のプリンタ設定では150dpiになっています。印刷のみ使用されるのであれば解像度を大きくした方がきれいに印刷されます。しかし、解像度を大きくするとデータ容量も大きくなってしまいます。MOなどに保存をするのであれば解像度を小さくすることをお勧めします。



dpiの数値が大きいほど、画像はきめ細かくなる

※² 画像ファイルの種類

スキャンする原稿が写真の場合にはフルカラーの【JPEG形式】を推奨します。また、原稿が雑誌等の場合には最大256色の【GIF形式】を推奨します。

G I F 形式		ジフ、ギフ	G I F (ジフ) は「Graphics Interchange Format (画像変換フォーマット)」の略でファイルの大きさが小さい画像ファイルです。 色数は256色が最大で、インターネットで一般的に使用されています。
J P E G 形式		ジェイペグ	J P E G (ジェイペグ) は「Joint Photographic Experts Group」の略でファイルの大きさが小さく、画像がきれいな画像ファイルです。 デジタルカメラで撮った写真、フルカラー画像に使用されインターネットで一般的に使用されています。
B M P 形式		ビットマップ	B M P (ビットマップ) は「Bitmap」の略でファイルの大きさが非常に大きい画像ファイルです。 色数は1600万色が最大で、Windowsの標準画像です。 (同じ画像でもファイルの大きさがG i fの約5~20倍になります。)
T I F F 形式		ティフ、チフ	アルダス社が規定した、ほとんどの色数に対応できる画像フォーマット。ファイルの大きさが非常に大きい画像ファイルです。